

令和6年度の動物実験 に関する自己点検・評価報告書

名古屋市立大学

令和7年7月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 ☐ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 名古屋市立大学動物実験規程 ・ 名古屋市立大学動物実験規程細則 ・ 医学研究科・飼養保管マニュアル ・ 薬学研究科・動物舎利用マニュアル ・ 理学研究科・動物飼育管理室利用マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に則した規程等が整備されている。
4) 改善の方針 特になし。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 ☐ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 名古屋市立大学動物実験規程 ・ 名古屋市立大学動物実験委員会規程 ・ 令和6年度名古屋市立大学動物実験委員会名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に則した動物実験委員会が設置されている。
4) 改善の方針 特になし。

3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・名古屋市立大学動物実験規程 ・名古屋市立大学動物実験規程細則
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 基本指針に則して、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められている。
4) 改善の方針 特になし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 ☒ 該当する動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・名古屋市立大学遺伝子組換え実験等安全管理規程 ・名古屋市立大学研究用病原性微生物等安全管理規程 ・放射線障害の予防に関する規程 ・名古屋市立大学大学院医学研究科放射線障害予防規程 ・名古屋市立大学大学院薬学研究科放射線障害予防規程 ・医学研究科・感染実験マニュアル ・医学研究科・アイソトープ研究室利用案内 ・薬学研究科・R I 施設利用の手引 ・発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関するガイドライン
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 安全管理を要する動物実験について、病原体の感染動物実験、放射性物質の投与動物実験、遺伝子組換え動物を用いる実験について各種規程等により、体制を整えているほか、発がん物質等危険物質を用いた動物実験についてガイドラインを策定している。

4) 改善の方針

特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果

- ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・ 名古屋市立大学動物実験規程
- ・ 名古屋市立大学防火管理規程
- ・ 動物実験施設一覧
- ・ 医学研究科・飼養保管マニュアル
- ・ 医学研究科・実験動物研究教育センターにおける災害対策マニュアル
- ・ 薬学研究科・動物舎利用マニュアル
- ・ 理学研究科・動物飼育管理室利用マニュアル

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)

機関内における実験動物の飼養保管施設が把握されており、各施設に実験動物管理者が置かれている。

4) 改善の方針

特になし。

6. その他 (動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

特になし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 名古屋市立大学動物実験規程 ・ 名古屋市立大学動物実験委員会規程 ・ 動物実験委員会議事録及び資料 ・ 令和6年度の動物実験に関する自己点検及び評価報告書(医学研究科) ・ 令和6年度の動物実験に関する自己点検及び評価報告書(薬学研究科) ・ 令和6年度の動物実験に関する自己点検及び評価報告書(理学研究科)
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) 動物実験計画及び施設等の承認、実施状況及び結果の把握、教育訓練、自己点検・評価並びに情報公開を実施する等、委員会としての役割を果たしている。
4) 改善の方針 特になし。

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 動物実験計画申請書(新規・継続)(第1号様式) ・ 動物実験計画等変更申請書(第2号様式) ・ 令和6年度自己点検及び評価報告書(動物実験計画実施状況)兼動物実験結果報告書・年度更新書(第3号様式) ・ 令和6年度の動物実験に関する自己点検及び評価報告書(医学研究科) ・ 令和6年度の動物実験に関する自己点検及び評価報告書(薬学研究科) ・ 令和6年度の動物実験に関する自己点検及び評価報告書(理学研究科)

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 規程に則り、動物実験計画書の立案、審査及び承認が適切に実施されている。また、結果報告も回収されているほか、必要に応じて申請者からの説明や理由書の提出を求めている。
4) 改善の方針 特になし。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況
（当該実験が安全に実施されているか？）

1) 評価結果 ☒ 該当する動物実験が適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料（安全管理上の事故等があれば、事故記録を対象とする） ・ 令和6年度自己点検及び評価報告書（動物実験計画実施状況）兼動物実験結果報告書・年度更新書（第3号様式） ・ 名古屋市立大学遺伝子組換え実験等安全管理規程 ・ 名古屋市立大学遺伝子組換え実験等安全管理要項 ・ 名古屋市立大学研究用病原性微生物等安全管理規程 ・ 放射線障害の予防に関する規程 ・ 名古屋市立大学大学院医学研究科放射線障害予防規程 ・ 名古屋市立大学大学院薬学研究科放射線障害予防規程 ・ 令和6年度の動物実験に関する自己点検及び評価報告書（医学研究科） ・ 令和6年度の動物実験に関する自己点検及び評価報告書（薬学研究科） ・ 令和6年度の動物実験に関する自己点検及び評価報告書（理学研究科）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 安全管理を要する動物実験は、概ね法令及び本学関係規程に基づき安全に実施されている。
4) 改善の方針 特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か？飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか？)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 令和6年度自己点検及び評価報告書兼実験動物飼養保管状況報告書(第7号様式) ・ 令和6年度の動物実験に関する自己点検及び評価報告書(医学研究科) ・ 令和6年度の動物実験に関する自己点検及び評価報告書(薬学研究科) ・ 令和6年度の動物実験に関する自己点検及び評価報告書(理学研究科)
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 関係規程等に基づく飼養保管マニュアル等により適正に飼養保管されている。
4) 改善の方針 特になし。

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の施設等は適正な維持管理が実施されているか？修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか？)

1) 評価結果 ☐ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 自己点検及び評価報告書兼実験動物飼養保管状況報告書(第7号様式) ・ 自己点検及び評価報告書(実験室管理状況)(第8号様式) ・ 令和6年度の動物実験に関する自己点検及び評価報告書(医学研究科) ・ 令和6年度の動物実験に関する自己点検及び評価報告書(薬学研究科) ・ 令和6年度の動物実験に関する自己点検及び評価報告書(理学研究科)
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 施設等は、基本指針に即して概ね適切に維持管理されているが、一部、建物の老化に伴う不備が発生した。
4) 改善の方針 医学研究科の実験動物研究教育センターの更新については、令和7年度より設計を開始し、施工後遅くとも令和11年度までに運用を開始する予定である。

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 令和6年度医学研究科教育訓練実施一覧 ・ 令和6年度薬学研究科教育訓練実施一覧 ・ 令和6年度理学研究科教育訓練実施一覧 ・ 教育訓練教材・実施記録等
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 基本指針に則した教育訓練が実施されている。
4) 改善の方針 特になし。

7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 名古屋市立大学ホームページ
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 自己点検・評価報告書を作成し、大学ホームページに必要な情報を公開している。
4) 改善の方針 特になし。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし。
